

新たな成長を実現する大規模MICE施設開発に向けて
～国際競争力と情報発信力の強化、観光立国の実現のために～
概要

2013年6月17日
一般社団法人 日本経済団体連合会

<ポイント>

1. MICEは、新たな成長実現のための重要なツール(高い経済効果、イノベーション・ビジネスチャンスの創出、ブランド力の強化)
2. MICEの国際競争力強化に向け、国を挙げたMICE戦略と世界最大級・最先端のフラッグシップ型大規模MICE施設の整備が急務
3. 国を挙げたMICE戦略の策定・推進、フラッグシップ型大規模MICE施設の整備に政治のリーダーシップの発揮を強く期待、経済界もMICE振興に一層注力
(注)MICEはMeeting, Incentive, Convention, Exhibitionの頭文字を取った略語

1. 大規模MICE施設開発の意義・ニーズ

(1)MICEの重要性と国際競争の激化

- 世界各国は、MICEを成長戦略の重要なツールと位置付け、積極的に誘致または企画運営
- 世界トップクラスの国際会議や見本市開催による開催国・地域のブランド力とビジネスチャンスの増大

(2)MICE市場におけるわが国の相対的な地位の低下

- 大型MICE施設と周辺施設との一体的整備という世界的な流れの中、国内のMICE施設は国際的に見劣りする状況
- 国際的な誘致競争への出遅れ、国を挙げたMICE戦略の不在等により、わが国は比較優位を喪失

(3)新たな成長に向けたMICE戦略策定とフラッグシップ型の大規模MICE施設整備の重要性

- 新たな成長領域確保に向け、政府はMICEを成長戦略の重要なツールと位置付け、関係者の適切な役割分担の下、下記によりMICE振興を図るべき
- ①総理以下政府・官民を挙げたMICE戦略の策定(データベースの整備などMICEマーケティングの国際競争力強化策、世界トップクラスの国際会議や見本市を企画・運営できる仕組み・能力づくり、大規模MICEをイノベーション・ビジネスチャンスの創出に繋げるマッチング機能の充実等を含む)
- ②世界最大級・最先端のフラッグシップ型大規模MICE施設の整備
- ③国家ブランドの構築に向けた取り組みとMICE戦略との一体的策定・推進

2. フラッグシップ型大規模MICE施設の立地条件

(1)良好な海外からのアクセス

- アジアのハブとなる国際空港から30分圏内

(2)ゲストの満足度を高める利便性・快適性

- 魅力付け施設も含めた一体的整備

(3)世界規模のビジネスの集積

- 日本の政治・経済のトップリーダーにとってアクセスの良い立地

3. フラッグシップ型大規模MICE施設計画の概略

- 展示場(屋内) 30万㎡
- 会議施設 5万㎡
- 3つ星以上のホテル 2800室 28万㎡
- 物販・飲食施設 9万㎡
- 都市型エンターテインメント施設 5万㎡
- 大人数に食事を一斉に提供する機能、魅力付け施設におけるジャパン・ブランド総本山としての情報発信機能等も必要

4. フラッグシップ型大規模MICE施設開発に向けた環境整備

(1)収益と政策効果の最大化に向けた官民の適切な役割分担と連携

- 関係者が最適な方法を柔軟に選択できるよう、政府・自治体は法整備や予算・税制措置、都市計画の見直し等の環境整備を実施

(2)国際戦略総合特区の活用

(3)クール・ジャパンファンドの活用

5. フラッグシップ型大規模MICE施設の整備費用と経済効果(一般社団法人 日本プロジェクト産業協議会の試算による)

- (1)施設建設費;MICE施設と魅力付け施設との一体的整備の総建設事業費は5,576億円(土地取得費1,350億円を除くと4,226億円)
- (2)経済波及効果;①施設運営は年間約5,800億円、②施設整備事業は約9,300億円

6. おわりに～政治的なリーダーシップの発揮～

- MICEを成長戦略に位置付け、MICE戦略の下でフラッグシップ型の施設整備を進めることに政治のリーダーシップを強く期待、経済界もMICE振興に一層注力
- 「特定複合観光施設区域の整備の推進に関する法律案」については、経済性と倫理性の観点を踏まえた国民的な議論の一層の深化、早期結論を期待